

町民の窓 臨時号 2011

The 55th Anniversary

発行・編集／宇治田原町役場総務課 〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10番地 TEL. (0774) 88-2250 FAX. (0774) 88-3231 印刷／(有)新進堂印刷所 宇治市宇治妙楽9

●ホームページアドレス <http://www.town.ujitawara.kyoto.jp> ●町長直通メール okuda@town.ujitawara.kyoto.jp ●町長直通FAX 88-2011



人と未来の絆を紡ぐ とともに祝う 町制施行55周年

- S22 維孝館中学校創立
第6回国勢調査実施
田原村=人口4,082人
宇治田原村=人口3,997人
- S28. 8 南山城水害
- S31. 9 田原村・宇治田原村が合併、宇治田原町制施行
- S34.11 役場新庁舎完成
- S36.11 広報『町民の窓』創刊
- S40. 4 町立保育園を田原・宇治田原・奥山田の3ヶ所に設置
- S44.11 町章制定
- S45.10 第11回国勢調査実施 人口=6,991人
- S46. 3 中央公民館完成
- 10 町の木「茶の木」制定
- S47. 6 上水道完成
- S51. 3 老人福祉センター「やすらぎ荘」完成
- S54. 4 国道307号郷之口バイパス開通
- S56.11 町の花「さざんか」制定
- S60. 3 宇治田原小学校北校舎改築工事完成
- S61.10 町の鳥「メジロ」制定
町の歌制定
- H 3. 3 田原川水辺のプロムナード「やすらぎの道」完成……①
- H 5. 3 田原小学校校舎増改築工事完成
- H 8. 6 町総合文化センター竣工
- H12. 3 公共下水道宇治田原浄化センター完成
- H14. 3 町立保育所完成
- H15. 3 学校給食共同調理場完成
- H16. 2 まるやま交流館完成
- 12 国道307号裏白バイパス全線開通
- H17. 9 維孝館中学校新校舎完成……②
- H18. 3 第4次まちづくり総合計画基本構想、基本計画策定
- H19. 3 奥山田小学校が宇治田原小学校に統合
- H21. 1 家庭ごみ透明袋化スタート
- H22. 3 集団茶園「宗円の郷」(郷之口西ノ山)完成……③
- 4 とともに創るまちづくり推進条例施行
- 10 第19回国勢調査実施 人口=9,715人(速報値)
- H23. 8 府道宇治木屋線南バイパス開通……④

※○数字は関連する写真

人と未来の絆を紡ぐ 心をつなぎ ともに創る 茶文化のまちに向かって



宇治田原町長 奥田 光治

本年、宇治田原町は、昭和31年9月30日に、田原村と宇治田原村が合併してから55周年を迎えました。

この間、合併移行時をはじめ、過疎化の進行など、幾多の難関を乗り越え、今日のよう

に素晴らしい宇治田原町として発展してまいりました。

そのような中でも、昭和45年には、国の過疎地域指定を受けて、「過疎からの脱却」を合言葉に、上水道施設整備をはじめ、教育施設整備、福祉医療制度の充実、基幹産業の茶業振興、府道枚方水口線

の国道昇格と国道307号郷之口バイパス建設や府道の改良整備などに積極的に取り組まれました。その結果、見事に10年間で過疎からの脱却が実現されました。

今日の宇治田原町の発展の礎は、2カ村合併と過疎の10年間における町政の推進にあると思います。ご尽力を賜りました諸先輩のご労苦に對しまして、心から深く感謝を申し上げます。

ご承知のとおり今日、東日本大震災からの復旧・復興と福島原発問題の収束など、安心・安全の確保の問題をはじめ、景気の回復や雇用の確保、社会保障と税の一体改革など、難しい問題が山積しております。そのような中で、町制55

今こそ感謝 そして未来に責任を持てるまちづくりを



宇治田原町議会議員 西谷 信夫

明治、大正から昭和、そして平成へと続く波乱・激動の時代を、時には塗炭の苦しみを味わい、時には洋々たる前途に心を躍らせながら、住民の皆様の新しいまちづくりへの思いと熱意、そして努力によって、宇治田原町は一歩一歩、着実に歩みを進めてまいりました。

工業団地」や大規模住宅地の開発。また、生活基盤としての上・下水道や小・中学校の整備事業をはじめ、公共施設の整備・充実により、将来性の高いまちとして発展してまいりました。

中でも、豊かな自然環境との共生を目指した「宇治田原

今般、東日本大震災や台風12号による風水害被害など、多くの皆様とともに被災地の一日も早い復旧・復興と、災害が引き起こす様々な被害の早期収束を願うところであり、ますます、今日の経済情勢はいま

周年の節目を迎え、これまで宇治田原町を築いて来ていただいた方々への感謝の気持ちと、次代を切り拓いていく強い気持ちをもって、本町の将来像「心をつなぎ、ともに創る、茶文化のまち」の実現に向かって、皆で知恵を出し合い、心と力を合わせて「住んで良かったなあ」と言えるまちづくりに全力で努めてまいります。

また、宇治田原町の歴史と伝統に培われた「宇治田原力」を深化させて、行政と住民が力を合わせて協働のまちづくりを推進するとともに、人と人の絆をより深めて、皆で宇治田原町の未来を紡いでまいりたいと考えています。どうか、皆様方の一層のご理解とお力添えを本町のまちづくりにお寄せいただきますようお願い申し上げます。

り、効率的で効果的な町政運営が強く求められています。私たちは、これまでの歩みを振り返り、先人の皆様への敬意と感謝の念を思い起こすとともに、過去と未来を繋ぐ今を生きるものとして、大きな使命とともに、輝かしい未来に向け責任を持って歩んでいかなければなりません。

我々、町議会議員は、町制55周年を契機に決意を新たに、透明・公正で効率的な行政運営はもとより、これまで以上に住民の皆様への説明責任、信頼確保が重要であり、更に邁進してまいる所存です。どうか、皆様方の暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人と未来の絆を紡ぐ ともに祝う 町制施行55周年

記念講演会 **無料**

10月15日(土) 11:00~正午

『山城茶の輸出と宇治田原
~新発見の史料から~』



講師 奈良女子大学講師
島津良子氏

内容

外国貿易が始まって間もないころ、生糸に次ぐ主要品目であった「輸出茶」について、当時の史料を紐解き、映像なども活用し、わかりやすく解説します。

宇治田原ふるさとまつり 10月16日(日) 10:00~15:00
総合文化センター

- ▶自慢の銘茶コーナー
 - ▶国際交流ブース
 - ▶臨時町長室 ほか
- ★がんばろう日本!東北農産物フェア...当日は現地から直送された農産物を販売し、売上金を義援金として寄付いたします。
- ふるさとまつり実行委員会 (☎88-4180)

昭和31年9月、当時の田原村と宇治田原村が合併し、宇治田原町が誕生して55回目の誕生日を迎えました。

多くの住民の皆様、関係者をお迎えし、ともに55回目の誕生日をお祝いします。

記念式典

10月15日(土)

総合文化センター さざんかホール

第1部 式典 9:30~

第2部 記念講演会 11:00~

※1部終了時間により開始時間の変更あり。

特別企画展 日本緑茶発祥の地 宇治田原 ~茶産業の歩みと変遷~

10月15日(土)~17日(月) 10:00~17:00

総合文化センター 研修室1 **無料**

平成20年より、町内等に現存する「お茶」に係る関係資料の収集・調査を行い、宇治田原町独自の茶史編集の整備に向けて取り組んでいます。

今回、これらの資料調査の成果を踏まえ、時代により移り変わる茶産業の歩みをテーマに特別企画展を開催します。

今回の調査で、新しく発見された資料もあります。お茶に関わる当時の人々の息吹を感じとってください。



揉みの作業風景

展示資料 ちょっと見学

最近、田丸屋で大量に発見された仕入、販売、積出などの帳簿類。安政6(1859)年に横浜港、慶応3(1867)年に神戸港が開港し、外国貿易が始まって間もない時期の輸出茶の詳細がわかります。

分厚い「仕入帳」からは多数の生産者と仲買との取引が確認できます。

帳簿では、慶応元(1865)年は江戸、明治6(1873)年は横浜、明治13(1880)年は神戸が最大の出荷先でした。船で宇治川から淀川へ、大阪から海路で、後には鉄道で出荷されるようになりました。



潮見家長持内帳簿資料

永谷宗圓 茶俳句賞

10:00~正午

茶文化のまち「宇治田原」を全国に発信する事業の一環として、平成19年度に創設した「永谷宗圓茶俳句賞」。

第5回となる本年は、第26回国民文化祭の主催事業として、『日常生活におけるお茶との関わり』を主題とした俳句を募集。

全国都道府県及び海外より2,808人(応募句数6,463句)から作品が寄せられました。



次第

■開会 10:00~

表彰式
講評

記念講演 11:00~

講師:坪内 稔典氏(俳人・佛敎大学教授)

演題:「お茶と俳句」



●講師プロフィール

1944年、愛媛県生まれ。立命館大学大学院文学研究科修士課程修了。正岡子規研究の第一人者。俳人としても活躍し、俳句グループ「船団の会」代表を務める。「水のかたまり」(ふるんす堂)、「カバに会う」(岩波書店)、「モーロク俳句ますます盛ん 俳句百年の遊び」(岩波書店)ほか著書多数。第13回桑原武夫学芸賞などを受賞。京都新聞日曜版ジュニアタイムズ連載中の「ねてん先生の575」を担当。

■閉会 正午

癒しのところ 今こそ 文化の 底●力

第26回国民文化祭・京都2011

10月30日(日)
総合文化センター

全国各地から様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、発表、交流する「日本最大の文化祭典」。第26回目の今年は京都府すべての市町村を会場に約70のイベントが予定されています。皆さんも参加して「文化」を再発見してみませんか?

テーマ

心を整える~文化発心

図教育委員会教育課 (☎88-5850)

産内茶フェスティバル(ハーブ)

13:30~16:00

●出演:4個人・3団体(17人)

佐々木 あかね(秋田県 秋田市)

松井 夕佳(滋賀県 守山市)

大山 恵(京都市)

村上 幸子(京都市)

アンサンブル・カノン(兵庫県 西宮市ほか)

ドリアンズ(兵庫県 西宮市ほか)

Be-with(兵庫県 西宮市ほか)



プログラム

■開会 13:30~

第1部 出演:4個人・3団体(17人)

第2部 女声合唱団 コール・エミュ(宇治田原町)

第3部 特別ゲスト(ハーブ奏者):内田奈織・野田千晶

第4部 ワークショップ(ハーブ説明・体験)

第5部 フィナーレ

(出演者全員ステージ「会場の人とみんなで歌おう」)



見どころ!

ハーブデュオやグランドハーブ5台、アイリッシュハーブ3台等が女声合唱団と共演する華やかなフィナーレをお楽しみ下さい。

「茶席」や「いけばな展」でおもてなし!

お茶席:9:00~10:30(協力:子ども茶道教室・抹茶)

12:30~14:00(協力:煎茶道サークル山茶花会)

いけばな展:9:00~16:00(協力:町文化協会華道部)

その他:手塚善理氏の陶芸作品や、ハーブに関するパネル展示など